

御国の福音

ダン・ジャスタ

2014年12月04日



ユダヤ的な現代における質問に、福音は見事に答えています。

預言者たち約束していた神の御国は何所にあるのか？預言者たちの望みはイスラエルと他の諸国が、メシア＝ダビデの子孫による統治のもとひとつとなることでした。イザヤ2章で主の御言葉がシオンから出て、国々は戦いをしなくなるとあり、また自然環境も変えられ、狼が子羊とともに伏し（イザヤ11章）、地球は主の知恵で満たされるのです。

イエシュアが来て教え始めた時、その内容は人々を驚かせました。「神の御国は手元にあり、悔い改めてその良い知らせを信じなさい」イエシュアにあることで御国は、自身でハグしたり、中に入ることをできるようにまで近づいたのです。地上を覆い尽くす程の最終的な神の御国は、将来の介入を待たなければなりません、イエシュアは御国が本当に現れ、手の届くところにあると示しました。

神の御国はどこにあるのでしょうか。かみの支配が確立しているところはあるのでしょうか。人間の人生のあらゆる局面において主の支配が確立されているとした時、神の御国があると言えます。イエシュアは彼の支配を確立するためのちからをもって来られ、先ずは私たちのところから始められたのです。御国のちからは病気や悪霊の障害から私たちを解放し、イエシュアの教えに従って生きることが出来るようになります。この教えがトラ（律法の書）に最高の適用を与えました。憎しみのところが私たちから除かれ、人殺しをすることは不可能となってきています。敵を愛し、また、不品行をしないだけでなく、心の中の情欲からも解放されています。私たちは私たちの約束に対し真実で、言葉に対し正直です。

イエシュアの譬え話が主の提供する御国の性格を表しています。それは神の言葉の種によって伝播され、柔らかい土（こころ）に受け入れられるところを見つけます。それこそがすべてに勝る宝となるのです（マタイ13章）。

福音のメッセージとは、神の御国が用意できているということなのです。私たちがイエシュアの死と復活にもとづき父の御前に来るとき、私たちの罪は赦され神の御国に入るのです。

神さまは、聖霊を通して私たちの人生の全てを主の正しさと御国の整然性、新約の律法へと整えて下さいます。

死から生へ渡ること



今回のパート1では、アシェルは、ユダヤ民族が紅海を渡ったこと、イエシュアの復活、そして信者たちが洗礼を受けることの驚くべき関連性について話しています。ご覧になるには[こちら](#)

父の回復

スティーブ・マグニューソン



神さまは私たちの父であり、誰もその地位を取って代われる者はいません。しかし私たちの人間である、信仰の父はアブラハムです。父の不在だった時代は終わりを告げました。神さまは父なしの人にとっての父なのです。神さまがその父なるところを開放し、彼自身を父親としてご自身を現されるのは、ユダヤ民族の回復を通じてなのです。

「信仰の父たち」は「彼らの得た息子たち」のところへ戻ります。私たちが自身の過去に繋がるとき、私たちの未来も回復されるというビジョンの感覚です。この繋がりは私たちが家族としてともに立つためにちからを与えてくれます。父と息子が手を取り合って。神さまは父たちのところを息子たちに、息子たちのところを父たちに向け直すことを約束しておられます（マラキ4:6）。私たちの核家族の回復に加えて、これらの預言は、ユダヤ人（父として）のころをその霊的息子たち（異邦人）に、息子たちのところをその霊的父たち（ユダヤ人）に向け直すことも含まれています。

オフロードシェアリング



ユヴァル・ヤナイ（リバイブイスラエルのCEO）の趣味のひとつ

つは、オフロードエクスカージョンです。最近彼はオフロード愛好家たちと遭い、ともに道なき道に行く機会が多くなりました。こういった旅行の中で、彼は信仰についてシェアする驚くべき機会を得ました。これらの人々（時によっては子供たちも一緒に）は、人生について、またイエシュアとは誰かといった質問を投げかけ、その後に素晴らしい会話が続きます。今週末（先週末）、彼とその家族は多くの未信者たちとこのような小旅行へ行きます。どうぞ彼らのために、これらの素晴らしく大切な人々と過ごす時間が祝福され、彼ら自身が神の御国の光となり、証し人となりますように、お祈りください。

新しい選挙

2015年3月17日にイスラエルで行なわれる選挙のためにお祈りください。現在この小さな国は、10以上の政党に分かれています。あつれき、野心、傷ついた自尊心により、国政は効率的に機能していません。この国はあらゆる派閥からの過激主義者たちによる両極化の危機にさらされています。エルサレムの平和のためにお祈り（詩篇122）、また、統一に対して心を広くすることができるようにもお祈りください。

ヤッドハシュモナ

メシアニックキブツに対する、ホモセクシャル・レズビアン団体による法的訴訟は、新しい段階を迎えました。残念ながら高等裁判所はヤッドハシュモナに対し不利な裁定を下し、伝統的な家族と聖書的価値のコミュニティの開放的なスタンスにも関わらず、ホモセクシャル・たちがその場所で「結婚」の儀式を行うよう再確認しました。彼らの特別イベントやケータリングサービスを閉鎖しなければならない脅威にさらされ、この決定はこのキブツにとってとても大きな経済的挑戦となっています。加えてキブツは前回の罰金に法務費用を足した、さらに4000ドルを支払うよう請求しています。ヤッドハシュモナへの献金はリバイブイスラエルを通じて行なえます。